

新鮮な農産物や加工品が人気を集めた軽トラ市



地場農産物や菓子人気

大曲駅前「秋の稔りフェア」

大曲市の農産物や加工品を一堂に集めた「秋の稔りフェア」が21日、JR大曲駅前の花通り商店街と大曲ヒカリオで始まった。4年ぶりの通年開催。雨の中、地元産の新鮮な野菜を買い求める人や秋の味覚を楽しむ人へにぎわった。きょうの日まで。

車両通行止めとした花火通り商店街では、軽トラ22台の荷台を使った軽トラ市を開催。市内の生産者団体などが農産物や加工品を売った。母親と訪れ、自分の小遣いで温室メロンを買った山下唯土君（大曲小）は「帰っておいちゃん、おばあちゃんと一緒に食べたい」と、大事そうに自分のリュックサックに詰め込んでいた。会場ではこのほかステージイベントを行い、飲食物を販売。市内高校の生徒のアイデアを基にした食品なども販売、配布した。

きょうまで 4年ぶり通常開催

商店街に設けた大曲農産物のブースでは、食料科学の生徒が考案し市内業者が試作した米粉チーズケーキなど菓



菓子の試作品を配布する大曲農高生

基に商品化を目指す。無料配布は初日のみ。大曲ヒカリオには大曲高がブースを設置。生徒のアイデアを基にこれまで商品化した菓などを商業料の生徒が売った。本年度は、市内産おむねをジャムにして生地をベイクドチーズケーキ（122年）は中止していた。（佐藤祥也）

大曲高生のアイデアを基に商品化した「おむねベイクドチーズケーキ」

